

平成28年度学校評価結果の考察と今後の対応について

長崎県立鶴南特別支援学校高等部西彼杵分教室

1 教育活動について

教職員（3.30）、保護者（3.40）であった。

教職員においては、2項目が3.0であり、本校から離れた場所に開設したため教職員に対する研修機会の不足や進路開拓の途中であることから保護者への情報提供の不十分さを感じている。今後は本校との連携を大切にしながら研修の機会を増やしたい。また、計画的に進路開拓を行い、情報を収集しながら新入生を受け入れる体制を整えていきたい。

保護者においては、18項目中10項目が3.6以上であり高い評価をいただいた。しかし、教職員と同様に情報提供の面で不十分さが感じられた。これからも保護者と教職員で連携しながら分教室としての教育活動の充実を図っていきたい。

2 教育環境について

教職員（3.17）、保護者（3.33）であった。

教職員においては、2の評価が3項目で6名おり、設備、施設の拡充を望んでいる。西彼杵高等学校は非常に協力的に対応していただいているので、今後も高校側と相談しながら充実を目指したい。

保護者においては、校内の環境にはおおむね満足していただいているが、高校前までの路線バス増便の要望がある。高校側も同じ要望があり、高校と同じくバス会社に増便を要請していく。今後も安心、安全な環境を目指して環境整備に取り組んでいきたい。

3 開かれた学校について

教職員（3.30）、保護者（3.30）であった。

学校公開は開設初年度であり、地域の中学校、西海市教育委員会など多くの方が参観して下さった。保護者の授業参観、日曜参観、文化祭等の行事に積極的な参加があった。遠足、体育大会、文化祭、各種集会等、高校との交流も行うことができた。次年度からは、生徒数の増加に伴いPTA活動の充実を図りたい。

4 総括

総合評価は、教職員（3.26）、保護者（3.34）であった。

評価1年目であり、全ての項目において昨年度との比較はできないが、今回の評価ポイントを下げないように努力していきたい。